

大阪府立加島小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

I 学校運営の中期目標

現状と課題

本校の児童の学力は、全国学力・学習状況調査や小学校学力経年調査において、全国平均・市平均より10～20ポイント下回ることが続いてきた。第Ⅳ区分の割合や無答率が高く、日々の授業では、意欲的・主体的に学びに向かうことができていない児童の姿が見られる。「聞く・読む・書く」ことや計算力など、基礎・基本の学力が定着していない児童も多い。これらの力の育成と、「個別最適・協働的な学び」「探求的な学び」とのバランスを考え、本校特有の課題に適応した授業モデルを構築し、合理的配慮の推進を含んだ、教員の授業力向上が急務である。

運動能力や運動に対する意識は、各学年特有の傾向はあるものの、全国平均・市平均に比べて高い状態が続いてきた。登校後や休み時間に運動場で遊ぶ児童が多く、体を動かすことに意欲的で、抵抗感が少ない。系統立てた授業づくりを工夫し、体育的な実践を保障することで、この素地を良さとして育てていくことができる状況にある。

児童の意識としては、R7小学校学力経年調査の結果において、次のような特徴がある。

- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」82.8% (市平均83.5%)
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」96.6% (市平均96.0%)
- 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」58.9% (市平均65.8%)
- 「自分には、よいところがありますか。」76.4% (市平均82.0%)
- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」77.8% (市平均79.3%)
- 「読書は好きですか」62.8% (市平均70.5%) ※数値は各質問に対し、肯定的に回答した児童の割合

学習の困難さがあがりながら、学校が楽しいと感じている児童が多いことは、これまでの教職員の取り組みの実績である。一方で、児童が困りごとや不安を解決できる環境づくりと自己肯定感の育成については、児童の安心・安全に直結するため、最重要の内容として取り組みを進める必要がある。

読書離れは長年の課題であり、家庭でスマートフォンやSNSの使用時間が延びている実態と相まって、意識させることが難しくなっている。児童が読書に魅力を感じられるような取り組みを推進するとともに、食事・睡眠・家庭学習など、生活習慣の意識向上についても、児童・保護者への指導・啓発を継続する。

また、外国から転入する家庭・児童の増加は、本校でも顕著になっている。日本語指導が必要な児童は〇人在籍しており、地域内にコミュニティができていく状況から、今後も転入が増えることが予測される。本校は、長らく人権教育を推進してきたが、昨年は児童間の差別事案が複数件起きた。それ以前にも同様の事案があったものの、学校として明確に対応してこなかった課題も明らかになった。差別事象をいじめ事案として捉え、管理職が対応への責任を持ち、教育委員会と連携しながら、人権教育主担を中心とした教育内容の再構築を進める。

教育DXの推進については、活用率とメディアリテラシー教育で一定の成果を残しており、今後も継続して取り組みを進める。

教職員の労働環境については、時間外勤務時間を短縮するとともに、互いの事情を尊重した仕事の在り方への理解が進んできた。だが、本校は、経験年数の浅い教職員の割合が市モデルよりも高いという課題がある。今後、授業準備や校務分掌など、基本的な一つ一つの仕事に向き合うのに時間が掛かり、勤務時間が延びる可能性は高い。教職員の疲弊は、教育の質を下げる。管理職主導で、更なる校務のスリム化を図り、保護者・PTA・地域に理解を得ながら、教職員個々のワークライフバランスとメンタルヘルスを守る職場環境づくりに取り組む。そのうえで、教職にしかない達成感・充実感を得たり、自分の価値を感じたりできるように、教職員の経験や個性を活かす学校運営を進める。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

◆基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現

- 令和11年度の小学校学力経年調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。
- 令和11年度の小学校学力経年調査の「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、70%以上にする。

◆基本的な方向2 豊かな心の育成

- 令和11年度の小学校学力経年調査の「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。
- 令和11年度の小学校学力経年調査の「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか。」に対して、肯定的に回答する6年生児童の割合を、90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

◆基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上

- 令和11年度の小学校学力経年調査の平均正答率(平均点)5割以下の児童を、いずれの学年も令和7年度より4ポイント減少させる。
- 令和11年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。

◆基本的な方向5 健やかな体の育成

- 令和11年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を+にする。
- 令和11年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

◆基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

- 令和11年度の小学校学力経年調査の「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を、76%以上にする。
- 令和11年度の小学校学力経年調査の「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して肯定的に回答をする児童の割合を、88%以上にする。

◆基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- 時間外勤務時間数が年720時間を超える教員を毎年ゼロにする。

◆基本的な方向8 生涯学習の支援

- 令和11年度の小学校学力経年調査の「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)。」に対して、「読書を全くしない」と回答する児童の割合を、26%以下にする。
- 令和11年度の小学校学力経年調査の「読書は好きですか」に対して、肯定的に答える児童の割合

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

◆基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現

- 令和8年度の小学校学力経年調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、83%以上にする。
- 令和8年度の小学校学力経年調査の「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、60%以上にする。

◆基本的な方向2 豊かな心の育成

- 令和8年度の小学校学力経年調査の「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、78%以上にする。
- 令和8年度の小学校学力経年調査の「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか。」に対して、肯定的に回答する6年生児童の割合を、80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

◆基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上

- 令和8年度の小学校学力経年調査の平均正答率(平均点)5割以下の児童を、いずれの学年も令和7年度より1ポイント減少させる。
- 令和8年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、78%以上にする。

◆基本的な方向5 健やかな体の育成

- 令和8年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を+にする。
- 令和8年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

◆基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

- 令和8年度の小学校学力経年調査の「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を、76%以上にする。
- 令和8年度の小学校学力経年調査の「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して肯定的に回答をする児童の割合を、88%以上にする。

◆基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- 時間外勤務時間数が年720時間を超える教員を毎年ゼロにする。

◆基本的な方向8 生涯学習の支援

- 令和8年度の小学校学力経年調査の「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)。」に対して、「読書を全くしない」と回答する児童の割合を、26%以下にする。
- 令和8年度の小学校学力経年調査の「読書は好きですか」に対して、肯定的に答える児童の割合を、63%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立加島小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>◆基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、83%以上にする。(R7:82.8%)</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査の「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、60%以上にする。(R7:58.9%)</p> <p>◆基本的な方向2 豊かな心の育成</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査の「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、78%以上にする。(R7:76.4%)</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査の「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか。」に対して、肯定的に回答する6年生児童の割合を、80%以上にする。(新規)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>学校に楽しく通える環境整備や場の設定を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会活動(児童集会等)で子ども同士が関わり合える機会の充実をはかる。 	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>児童が相談しやすい環境を検討し、設定する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の天気の入力項目を学校で統一し、相談が必要なときを学校全体で把握しやすくする。 	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>児童ひとり一人に肯定的な評価を伝え、自己肯定感を高める。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセス調査にかかわる研修会を年1回以上実施し、調査結果を活用する。 ・児童理解研修会を年2回以上実施する。 ・児童に声掛けやメッセージを渡せる機会を設ける。 	
<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>互いのちがいが認め合い、大切に作る仲間づくりに取り組む。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育カリキュラムをもとに、人権課題をテーマにした授業を各学年で年間1回以上実施する。 ・学級会活動や総合的な学習の時間、道徳科の授業を通じて、児童同士で肯定的な声掛けが実施できる機会を計画する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立加島小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>◆基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査の平均正答率(平均点)5割以下の児童を、いずれの学年も令和7年度より1ポイント減少させる。(R7 3年生19.6% 4年生45% 5年生36.8%)</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、78%以上にする。(R7:77.8%)</p> <p>◆基本的な方向5 健やかな体の育成</p> <p>○令和8年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を+にする。(R7 男子:+0.07 女子:+0.02)</p> <p>○令和8年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。(R7「最も肯定的な回答をした児童」 55.8%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>教員の授業力向上と児童の学習規律の定着に取り組む。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業力向上に関わる研修会を年間5回以上実施する。 ・教職経験の浅い教員を中心に、ティーチング・エンパワーメント事業を通して、一人一回以上の公開授業を行う。 ・研究推進委員会を中心に、「学びと向き合う子どもを育てる学校づくり～達成感を味わえる授業～」をテーマに学力向上の取り組みを進める。 	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>話し合いの仕方を知り、活用する。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの話型を全教室に掲示して活用する。 ・一单元の中で一回話し合い活動を取り入れる。 	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>児童の体力の向上に取り組む。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員研修を年間1回以上行う。 ・年間を通じて授業の中で「投げる」「走る」「身体の柔軟性」等を取り入れた活動に取り組む。 	
<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>運動・スポーツに楽しく参加できる学校行事、各種取組を実施し、運動やスポーツに親しむ機会を増やす。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会以外に体育的行事を年間1回以上実施する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立加島小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>◆基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査の「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を、76%以上にする。(R7:74.9%)</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査の「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して肯定的に回答をする児童の割合を、88%以上にする。(R7:87.8%)</p> <p>◆基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり</p> <p>○時間外勤務時間数が年720時間を超える教員を毎年ゼロにする。(R7:ゼロ)</p> <p>◆基本的な方向8 生涯学習の支援</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査の「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。)」に対して、「読書を全くしない」と回答する児童の割合を、26%以下にする。(R7:26.8%)</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査の「読書は好きですか」に対して、肯定的に答える児童の割合を、63%以上にする。(R7:62.8%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>一人一台端末を授業で効果的に活用する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した授業実践にかかる校内研修会を年間1回以上実施する。 ・日々の「心の天気」の入力を、学習者端末により出席者の80%以上行う。 ・学習者用端末を活用した授業や教材研究を、ICT支援員と連携して実施する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>デジタルリテラシー教育を推進する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年情報モラル教育を学期に1回以上実施する。 	
<p>取組内容③【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>「学校園における働き方改革アクションプラン」を推進する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールサポートスタッフを積極的に活用する。 ・教育相談等、17時以降の予定を組まないようにする。 ・月に1回「研究の日」を設定し、教材研究等に充てる時間を確保する。 ・長期休暇中に学校閉庁日を設定する。 	
<p>取組内容④【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <p>平日に読書をする機会を設ける。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日と木曜日の朝の時間に読書タイムを実施し、読書の習慣を定着させる。 	

<p>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】 読書環境を充実させ、読書習慣の定着を図る。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室や教室の読書環境を年間2回(夏季・冬季休業期間)見直す機会を設ける。 ・学年に応じた書籍や児童の希望にそった書籍を購入する。 ・除籍した本の取り扱い(学級文庫の交換、希望者へ配布など)を実施する。 ・図書委員会の取り組みを充実させる。(読み聞かせを学期に1回実施など) 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

令和 年度 学校関係者評価報告書

大阪市長 (学校園名) 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標:
年度目標:

3 今後の学校園の運営についての意見

--